

【取組内容】 個別最適×協働的 Excelの同時編集で、個々の学びを協働的で深い学びへ進化

I - ① 共同編集Excelシートの活用（教科の授業や「My探究」のゼミ内発表時）

使用以前の姿

発表のリアクションが一方向にとどまったり、他者の意見を参照するだけにとどまったりしていた。

他のグループの活動状況は、発表時以外に知ることができなかった。

今年度の生徒の姿

クラウド上で共有したExcelの共同編集シートで複数の他者の意見を参照し、さらに自己の意見をバージョンアップすることができた。

他のグループの活動状況も、随時知ることができた。

で入力			
	タイトル→	今後地球はどうなってゆくのか	資本主義と共産主義どちらが正しい？どちらが優れている？
	工夫したこと→	地球の寿命や、人々の生活などからまとめた。	パワポの表現 難しい歴史をキャッチーに どちらも決して否定しない
	見どころ→	出来るだけ短くまとめた	前半はパワポを使いますが後半はアドリブ熱弁します。 長くなりそうです
	感想→	画像で分かりやすく未来のイメージを出していた。	地図のパワポの使い方がきれいだった。編集の努力が伝わってくるパワポだった。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

渋谷区立代々木中学校（東京都）【指定校】

【取組内容】 情報活用能力 自分たちで探究計画を作成・共有し、自律的な行動を促進

I-② 3年総合 Excelシートの活用+メタバース体験（修学旅行 行動計画の作成と共有）

(1) 3年生 修学旅行の探究コース決め

情報を収集しながら班ごとに決めた修学旅行のコースをExcelに入力して共有。他の班のコースも参考にしながら計画を見直して最終決定。



		8			9			10			11			12															
班	チェック	30	40	50	0	10	20	30	40	50	0	10	20	30	40	50	0	10	20	30									
記入例	清水寺						下鴨神社						慈照寺銀閣		茶道体験				哲学の道を歩く		日の出うどん								
1組	1 清水寺						平安神宮						八坂神社						昼食		二年坂 三								
	2 清水寺												伏見稲荷大社 (9:16~10:46)					移動			清水寺 (11:43~12:43)								
	3 清水寺												伏見稲荷大社						移動		清水寺	ランチ							
	4 清水寺												アバンディ								伏見稲荷大社	三十三間堂							
	5 清水寺													伏見稲荷大社							移動 → →	平等院	移動 →						
	6 清水寺													移動							八坂神社	移動	清水寺	昼食 (清水寺付近)					
2組	1 清水寺													移動							平等院鳳凰堂	移動	伏見稲荷大社	移動	清修庵 (昼食)				
	2 清水寺													移動							京都御所	移動	仁和寺	移1					
	3 清水寺													駅まで徒歩							鳥丸御池駅~京都駅~宇治駅		平等院	徒歩	宇治駅~稲荷駅	伏見稲荷大社			
	4 清水寺													移動							京都タワー	移動	昼食	移動	清水寺	移動	清水店		
	5 清水寺													移動徒歩							二条城	二条城	五条	東本願寺	移動徒歩	西本願寺	昼食	移動	移動

↑ 各班が入力したエクセルシート

(2) 3年生 メタバース空間で修学旅行の探究コースをシミュレーション

企業・京都市と連携し、メタバース空間を体験。修学旅行のシミュレーションを行い、具体的な探究計画を再確認。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

渋谷区立代々木中学校（東京都）【指定校】

【取組内容】 クラウドを活用した校務の効率化により、紙の消費量の削減と組織の一体化を促進

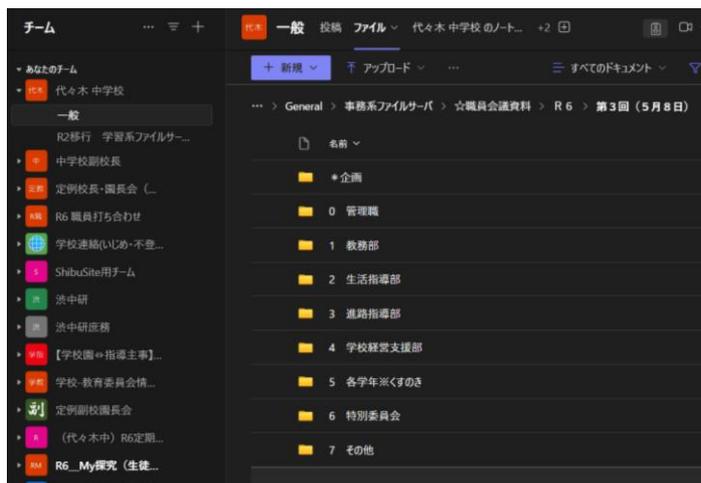
I - ④ 校務DX（クラウドを活用し教員の働き方改革へ）

Microsoft OneNote, Teamsを用いた会議資料の共有

企画委員会、職員会議は予め議題を入力し、当日の会議資料は事前に周知を図って議事運営を円滑に行った。

その結果、会議は従来の半分以下の30分以内に終わるようになった。紙の消費量も大幅に減った。

また、会議記録を共有することで、出張等で当日不在の職員にも周知が徹底でき、教員間の意思疎通がスムーズに行えるようになった。



会議資料の共有化による組織の一体化

会議資料を予め共有することで、職員が自分のタイミングで内容を把握することができ、効率的な働き方改革につながった。

また、会議の内容への共通理解も深まり、組織の一体感も生まれつつある。